

呼吸器専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

呼吸器疾患は内科疾患に占める割合が多く、特徴として生命を左右する緊急性の高い疾患を多く含むこと、迅速な診断、対応および治療が求められることなどが挙げられます。日常診療において的確な病歴聴取と身体所見、検査所見から呼吸器疾患を鑑別し緊急性の判断、迅速な初期治療を学ぶことは呼吸器内科後期研修において必須事項です。本プログラムでは、5年間で呼吸器専門医に求められる専門的知識・確実な技量の取得とを目標とし、他科との円滑な連携のとれるチーム医療の一員としてどこでも活躍できる呼吸器内科医としての基礎を固めることを目指します。



プログラムリーダー 浜松医科大学医学部内科学第二講座 教授 須田隆文

2 目的

この静岡県版プログラムは初期臨床研修を終えた医師を対象にしたもので、その目的は

- (1) 優れた呼吸器内科専門医を養成すること
- (2) 県内病院での活躍の場を優先的に提供し、静岡県民が安心して高度な呼吸器内科医療を県内のどこでも受けられるようにすること。
- (3) 静岡県外でも、推薦状等により国内の医療施設での活躍の場を確保することである。

3 目標

本プログラムは日本呼吸器学会専門医制度に準じたカリキュラムで行う。その大綱を別紙1に示す。

また、60ヶ月間に習得すべき必須技術・手術の内容の最低限の目標症例数を示す。

1) 胸部 X線透視	40 件	9) 酸素療法	40 件
2) 気管支鏡	50 件	10) 吸入療法	40 件
3) 末梢病巣擦過診	30 件	11) 人工呼吸管理 (NIPPV を除く)	8 件
4) 経気管支生検 (TBB)・経気管支肺生検 (TBLB)	30 件	12) NIPPV	8 件
5) 気管支肺胞洗浄 (BAL)	30 件	13) 気管内挿管	10 件
6) 内視鏡的気道吸引	10 件	14) 心マッサージ	15 件
7) 胸腔穿刺法	20 件	15) 胸腔ドレナージ	10 件
8) 動脈採血	60 件		

上記カリキュラムに定められたものの他に、医療倫理、医療安全、感染対策、医療関連法規、医療事故対策、異常死の対応、人間関係、EBMの実施に関する院内教育、研修も行う。

研修 5 年目の 10 月に行われる日本呼吸器学会呼吸器専門医資格認定試験の受験資格を取得する。

4 特徴

本プログラムの研修期間は60ヶ月である。下記に述べる特徴ある研修基幹病院を1-2年ずつローテーションする全県下型教育支援プログラムである。

5 研修カリキュラム

(1) プログラムにおける研修・勤務期間は5年(60ヶ月)

2年毎に研修基幹病院をローテーションし、最終年度は原則1年間とする。

(2) 研修基幹病院での専修医用研修プログラムの実行：

- 1) 上記最低症例数の経験を含んだ研修カリキュラムに沿って研修を行う。
- 2) 研修基幹病院における1年目の研修では、その後の専門医としての技術・知識を高める基礎を築くため専修医の希望により循環器内科、消化器内科、救急科のローテートが可能である。その際も上記呼吸器研修内容の目標は、変わらずローテート後に研修カリキュラムに沿って研修を行う。

6 研修例

プログラムにおける研修・勤務期間は5年(60ヶ月)

2年毎に研修基幹病院をローテーションし、最終年度は原則1年間とする。

研修スケジュール・キャリア形成の例

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.2年目	研修開始 → A病院(基礎技術の研修、学会参加など)											
3.4年目	B病院(基礎技術洗練、更なる症例の経験)											
5年目	C病院(更なる症例の経験、試験資格取得、試験など) → 研修終了											

7 研修病院群

2015-2016年 研修指定基幹病院

- | | |
|-----------------|----------------|
| ① 浜松医科大学医学部附属病院 | ② 聖隷浜松病院 |
| ③ 聖隷三方原病院 | ④ 浜松医療センター |
| ⑤ 磐田市立総合病院 | ⑥ JA 静岡厚生連遠州病院 |
| ⑦ 国立病院機構天竜病院 | ⑧ 浜松赤十字病院 |
| ⑨ 浜松労災病院 | ⑩ 藤枝市立総合病院 |
| ⑪ 静岡県立総合病院 | ⑫ 市立島田市民病院 |
| ⑬ 静岡市立清水病院 | ⑭ 静岡市立静岡病院 |
| ⑮ 静岡赤十字病院 | ⑯ 静岡済生会病院 |